

『チーズはどこへ消えた?』

この本の登場人物は小人の「ヘム」と「ホー」、ネズミの「スニッフ」と「スカリー」です。2人と2匹はある日、迷路にあるチーズステーションCで大量のチーズを見つけます。毎日食べていたのですが、チーズはついになくなります。2匹は迷路に新たなチーズを探しに行き、2人はチーズステーションCを離れませんでした。しかし、「ホー」は1人でチーズを探しに迷路に行き、チーズステーションNを見つけます。そこには「スニッフ」と「スカリー」がいて、チーズを食べて満腹の様子でした。

私は、「変化」とは新しい何かを発見できるチャンスであり、小さな変化に気づくことの大切さを知りませんでした。この本を読むことでそれを知り、他にもたくさんすることに気づかされました。有名な本であり、読みやすい一冊なので、ぜひ手に取ってみたいと思います。

TEXT BY H.M.



『チーズはどこへ消えた?』
スペンサー・ジョンソン 著
扶桑社



『牧野富太郎』
清水洋美 著
汐文社

『牧野富太郎』

みなさんは牧野富太郎という名を聞いたことがありますか。牧野さんは、日本を代表する植物学者です。小学2年生で自主中退という学歴でありながら、東京大学に出入りしていました。集めた植物の標本は40万点にもものぼります。牧野さんは学歴だけでなく、お金もありませんでした。しかし、植物への愛と情熱があったのです。この本は、そんな彼の人生を描いています。植物の知らなかった情報も書かれています。そしてなにより、この本を読むと夢について熱くなれます。ぜひ、読んでみてください。

TEXT BY W.O.